

筑西市在宅医療・介護連携推進事業
令和8年度第1回多職種勉強会・意見交換会 アンケート結果

□ 開催概要

開催日：令和8年7月13日（月） 19：00～20：30

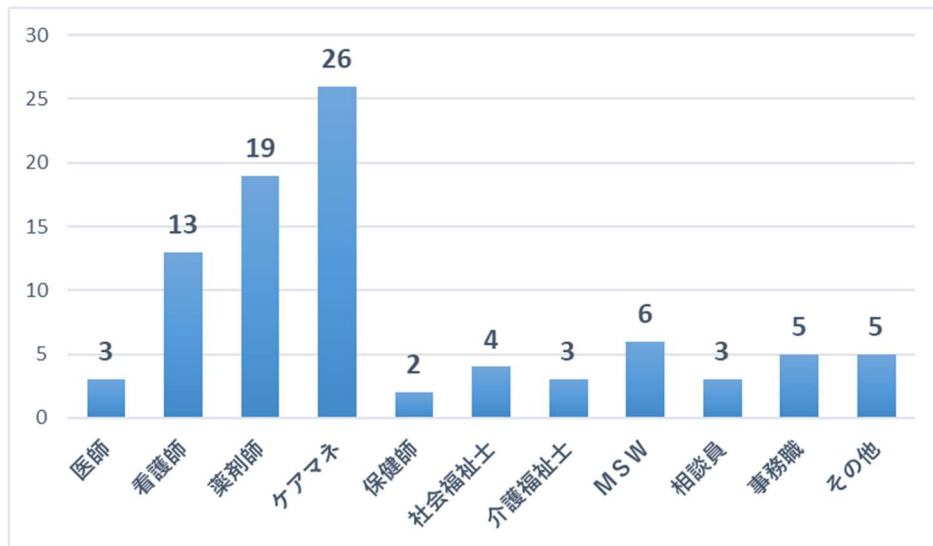
テーマ：「多職種で考えよう！筑西市の医療と介護の未来

—人手不足の時代をどう乗り越える！？—

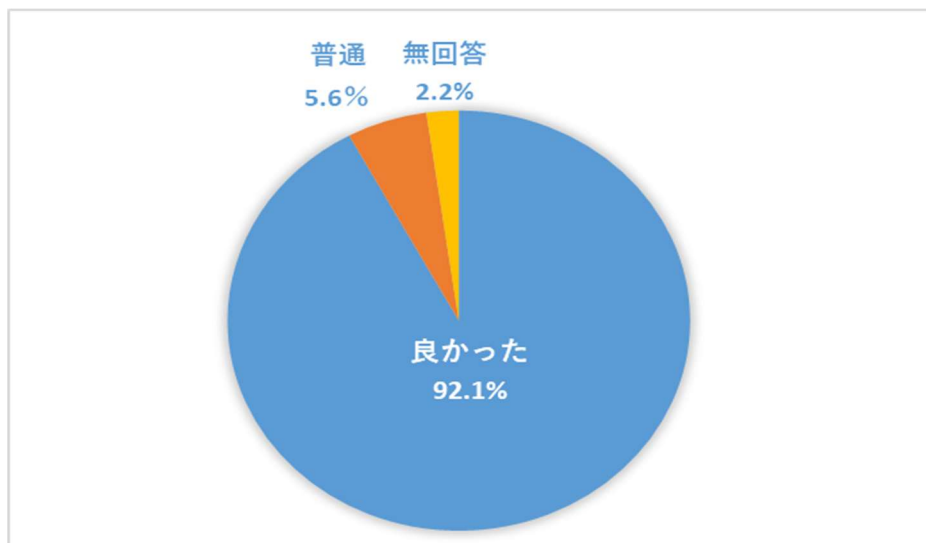
参加者数：92名（うち筑西市在宅医療・介護連携推進委員 15名）

回答率：97%（回答数 89件）

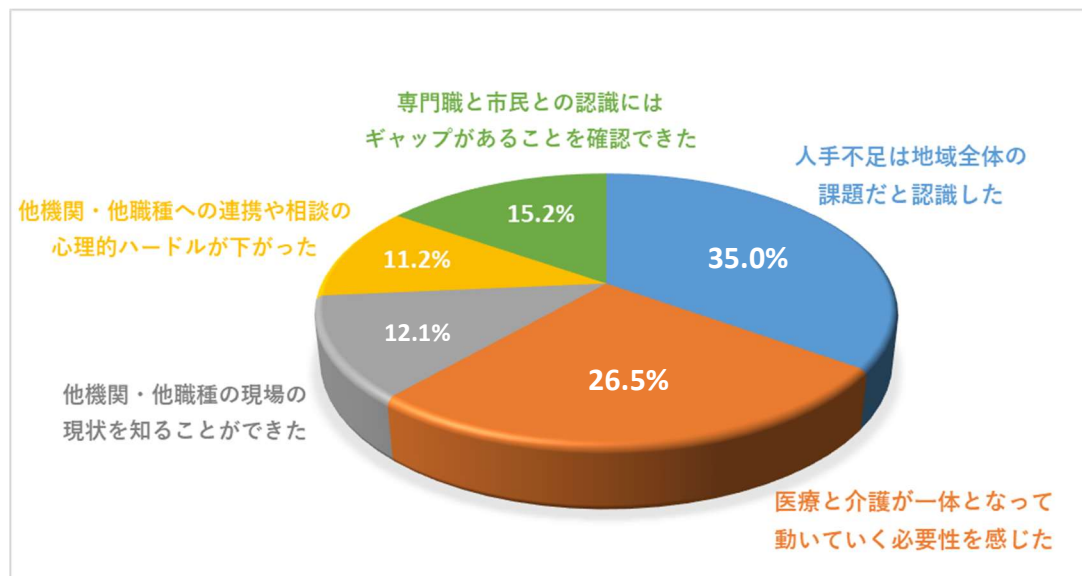
■問1. あなたの職種についてお聞かせください。



■問2. 今回の勉強会・意見交換会のテーマ及び内容はいかがでしたか？



■問 3. 本日の勉強会を受けて、意識の変化や気づきはありましたか？（複数選択可）



■問 4. 本日の勉強会について、ご意見・ご感想など自由に記入してください。

- ・ 人手不足は家族サイドにも言えることで、介護が集中してしまう状況も考えるべきだと思います。SOS に気づき、適切なサポートができるようにしたいと思います。今回のような話し合いを持つことがその一歩になると期待しています。
- ・ 100点
- ・ できればもう少し早い時間（18 時～）で参加できたらと思いました。
- ・ 色々な職種の方の意見が聞けて参考になりました。筑西市に明るい未来があると良いなと思いました。
- ・ 多職種の生の声が聞けたグループワークで、普段話せないことを話せたと思います。
- ・ 在宅医療、介護現場の意見を聞くことができてよかったと思います。
- ・ ざっくばらんに話ができてよかった。また、ぜひ参加したいです。
- ・ 時間や内容が良かったです。
- ・ もう少しグループワークの時間が欲しかったです。
- ・ 初参加で他職種の方の意見が聞けて良かった。また参加したいです。
- ・ 多職種のフォローはとても大切だと分かった。
- ・ 顔を合わせて、他事業所、職種の方と直接会って話す場は貴重でした。また参加させていただきたいと思います。
- ・ 職種関係なく、市自体が高齢化しているので、若い世代に筑西市の魅力を伝えていく必要があると感じました。
- ・ 他職種フォロー、明日からやってみます！！

< 次項に続く >

- ・専門職同士が連携することで答えはなくても方法や対策が見えてくる。この勉強会がとても必要であると感じた。
- ・筑西市からの協力が形として見えると助かります。医療介護業界は限界な状況です。
- ・人手不足という問題は、全体の課題であることを再度認識できました。
- ・薬局としては、特に医師との話は貴重なので、今後も医師の参加を期待します。
- ・共通のテーマを軸として、もっと色々な事例検討をしたい。
- ・もう少しグループワークの時間がほしい。情報共有、楽しかったです。
- ・これからも続けていくべきであり、問題提起してほしい。
- ・普段関わる機会の少ない他職種と意見交換ができ、たくさんの学びがありました。
- ・茨城には薬学部がないので、奨学金などを通して若い人材を確保してほしい。
- ・専門職と市民とのギャップを埋める機会を！！
- ・問題点はそれぞれ出たが、解決策がうまく出せず…。
- ・人手不足はどの職種においても大変な問題と感じた。行政としても解決に向けて取り組みを進めていただきたい。
- ・色々な事業所で働く専門職の実情を知ることができ、より身近に感じることもできた。
- ・専門職だけで問題を解決していくのは難しいと感じた。他職種への理解をもっと深めていきたいと思う。
- ・人材不足はこれから大きな課題となってくる。多職種間フォローを行いながら、AI活用等行っていきたい。
- ・初めて参加させていただきました。他職種、事業所の方々と情報共有でき、今後の連携に役立つ勉強会でした。
- ・自分の勉強不足を感じました。今後は他職種の業務内容を学び、患者さんに紹介できるようにになりたいと思います。
- ・とにかくこういう会を続けるのが大事に思います。
- ・介護の処遇改善の必要性をひしひし感じた。若い人が地元に残らない、残れない。
- ・他グループの発表を聞くことで、気づきが生まれてくる。グループワーク→発表→グループワーク→発表の流れでもいいのでは。
- ・わかりやすい説明をありがとうございました。グループワークが良かったです。
- ・とても有意義な時間でした。ありがとうございました。
- ・ファシリテーターの方が話しを分かりやすく進めてくれて話しやすかったです。